

こどもたちの(心)におはなしのシアターを

# SHOWEV

4月

# 4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 休館日	3	4 4じ~おは水	5	6	7 3じ~おはどん
8	9 休館日	10	11 4じ~おは水	12	13	14 3じ~おはどん
15	16 休館日	17	18 4じ~おは水 昔語りの日	19	20	21 3じ~おはどん
22	23 休館日	24	25 11じ~おはちび 4じ~おは水	26	27	28 3じ~おはどん
29 昭和の日	30 振替休日	5/1 休館日	休館日・毎週月曜日(祝祭日に重なった場合は翌日) 開館時間・平日 9:30~19:00 土日祝祭日 9:30~17:00			

つるおか市立図書館 おはなしイベント 2018.4. VOL 267.

## NEWS

### 5月13日(日)春のおはなし会 あります! テーマは「とびだせ!」

- 10:00~ 素語りおはなし会
- 10:30~ 道具などを使ったおはなし会
  - ・と、とこひつじ
  - ・しゃぼんだま
  - ・世界でいちばんきれいな声 など

### 3/10,11.よみきかせボランティア養成講座 (出張おはなしの講習会) じらかいました!

東京こども図書館から 清水千秋先生と  
如藤節子先生をお迎えして、  
お話し=素語りの講習会が開かれました。  
1日目の基礎編には49名の方が参加。  
先生の実演を交えて、楽しい雰囲気の中で、  
語り手としての心構えやお話しの選び方、  
聞き手の子ども達へのお話しの届け方など  
学びました。2日目の実践編は26名の  
参加。先生達から参加者の語るお話しを  
聞いて様々なアドバイスをいただきました。  
6月には、図書館で素語りの会を企画  
しますので、語り手として、ぜひご参加下さい。

25-2525  
→ 語り手としての参加となります。問い合わせ: 鶴岡市立図書館 担当: 吉住



10日 基本編  
先生の実演を交えて、  
おはなしの  
基礎  
学びました。



11日 実践編  
参加者の語りを  
聞き、先生に  
講評、アドバイスを  
いただきました。



### 館内 おはなし会のご案内

<b>おはすい</b> (おはなしすいようび) 毎週水曜日 ごじ 4じ~4じ30分 絵本・紙しばいを 中心に、 第3水曜日は 昔がたりの日	<b>おはちび</b> (おはなしちびようび) 毎週水曜日 第4水曜日 ごぜん 11じ~11じ30分 0~1才向けの おはなし会♪ 手あそび・わらべうた えほんなど。	<b>おはどん</b> (おはなしどようび) 毎週土曜日 ごじ 3じ~3じ30分 季節のおはなし 絵本や 紙しばいなど。
---	--	---

おはなし会スタッフもありません。  
スタッフがあつめると  
すてきなプレイス  
あります。

館長の



# ことば室の本棚から



桜前線が、足早に北上を始めております。少し前には、桜の新種が見つかったというニュースも流れておりました。新年度を迎え、新たな一歩を踏み出すこの時期、日本全国の桜が、新たな一歩を祝福してくれているように思います。

今月は、小学生から大人まで、満開の桜を見るころに読んでほしい本にいたしました。『桜守のはなし』(佐野藤右衛門 作 講談社 2012 年刊)です。作者の佐野藤右衛門さんは、京都の「植藤造園」の16代目の当主の方です。江戸時代から京都・仁和寺に仕える植木職人で、14 代目からは日本各地の名桜の保存につとめる「桜守」を継承しておられます。桜を守るのがお仕事です。

文章はすべて語り口で綴られています。「桜は守りをしないといけない木なんです。手いれではあきません。…手塩にかけて守る。このしごとは、なによりもまず桜への愛情がひつようなんです。」と書かれています。



桜守のはなし

「桜守のはなし」  
佐野藤右衛門 作  
講談社  
2012 年

この言葉通りに、佐野さんの桜を守る仕事は、実にきめ細やかです。桜の花が散って芽が出てから、一年の仕事が始まるのです。春、花が咲くころは、新種を見つける時期だそうです。咲いた花を見ないと分からないことがたくさんあるからだとか。夏は、虫や病気に気を付けます。木が成長する大事な時期だから。種まきも夏の仕事。種から育つ「実生」ができるのは、300 種類以上ある桜の内、わずか3種類だけだそうです。ほとんどの桜は、人間が接ぎ木という手法を使って、育てるのです。季節ごとの様々な「桜を守る」仕事が、写真とともに紹介されています。

今の季節、桜のつぼみがふくらんでくる様子を「笑いかけ」と言うそうです。誰かに教えたい言葉ですね。

初めて知ることについては、子どもの本から入るのがお勧めです。子どもの本の編集者が、子どもの心にとどくことを願って、優しく、丁寧に作っていますので。ぜひ、ご覧ください。



「サクラの絵本」  
勝木俊雄 編  
森谷明子 絵  
農山漁村文化協会  
2015 年



「野の花えほん」  
前田まゆみ 作  
あすなろ書房  
2009 年

## おはなしポケットメンバーおすすめ本

『もうすぐもうすぐ』岡田千晶・おかだこう著 教育画劇 2012 年

やっと暖かくなって来ました。

この季節がどんなに待ち遠しかったか。

今年の冬は例年のない大雪でした。

だからこそ、今この季節を迎える事が出来て幸せです。

ここで紹介する絵本は『もうすぐ もうすぐ』森の奥に住むうさぎの家族、

うさぎ兄弟の末っ子のブブはまだ春を知りません。

春がどんなものか知りたくてしかたないブブ、ある朝目が覚めると

遠くのほうから聞こえる『どーん、どーん』と言う音。

音の方へ行ってみると、そこには大きなシロクマおじさんが居て、

そのおじさんから、ブブは少しだけ春がどんなものか教えてもらう事ができました。

寒い冬があるからこそ、暖かい春を迎える事が出来る喜び、そんな事を感じる事が出来る絵本です。



『だってだってのおばあさん』佐野洋子 さく・え フレーベル館 1980 年

98 歳、皆さんはこの年齢を見てどのような印象を持ちますか？

『だいふ御高齢だな』『元気でなにより』『病気などしてないかな？』

様々な印象を持つと思います。

この登場人物は「だってわたしはおばあちゃんだもの」がログセの、

98 歳のおばあちゃんと、元気な猫の男の子。

99 歳のおばあちゃんの誕生日の日、ある出来事が起こります。

その出来事からおばあちゃんはますます元気なおばあちゃんになります。

さて、何があったのでしょうか？

ステキなステキな一冊です。



おはなしポケット すがわらのぞむ

## ～てあそび♡わらべうた やってみよう～

『ひらいた ひらいた』春の定番わらべうたです♪

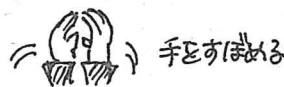


① ひらいた ひらいた

なんのはながひらいた  
けんげのはながひらいた



ひらいたとおもったら  
いつのまにかつぼんだ



② つぼんだ つぼんだ

なんのはながつぼんだ  
けんげのはながつぼんだ  
(手をすぼめたまま)

つぼんだとおもったら  
いつのまにかひらいた  
(手をひらく)



輪になつたのう!

参考文献

つちだしはる  
『うたえほん』



クラマ社 1988 年